

いちばいちばんとは

このキャッチコピーは、札幌市中央卸売市場で働く人々の次の思いが込められたものとして作られました。

【安全・安心いちばん】

市場を流通しているものは、産地もしっかりとしており、安全・安心なものであること

【鮮度いちばん】

商品の特性に応じた取扱いにより品質が保たれていること

【美味しさいちばん】

北海道の食の一大拠点である札幌市中央卸売市場の目利きが、みなさんに美味しさをお届けするということ

はじめに

札幌市中央卸売市場では、平成 23 年（2011 年）に「札幌市中央卸売市場経営活性化プロジェクト」を策定し、持続可能な強い市場づくりのために生産地との連携や北海道産品に関する情報発信等の事業に取り組んできました。

この間、平成 30 年（2018 年）の北海道胆振東部地震などの自然災害の発生など、これまで生鮮食料品流通において大変な難局に直面してきましたが、卸売業者・仲卸業者・小売業者が、各自の強みを発揮し、そして札幌市と一体となってこの困難な状況を乗り越え、市場の活性化に努めてまいりました。

今回策定した「第 2 次札幌市中央卸売市場経営活性化プロジェクト」は令和 3 年度（2021 年度）から向こう 10 年間に於いて目指すべき方向性を示した経営計画になります。

卸売市場法の改正により、全国の中央卸売市場がそれぞれの地域性を考慮した取引ルールを策定しておりますが、当市場においてはこれまでの取引ルールや卸売業者・仲卸業者・小売業者の役割を尊重したうえで、市場流通の活性化を図るための制度を作りました。

この計画においても策定に参画した各企業と札幌市が一体となり市場流通の活性化を図り、もって地域経済の発展に貢献してまいります。

今、新型コロナウイルスによる感染症拡大の影響により、生鮮食料品の需要が減少するなど市場は非常に厳しい環境にさらされています。

しかし困難な状況下にあっても、理念に掲げる市民の皆様に生鮮食料品を安定供給するという使命に変わりはありません。しなやかにそして力強く環境の変化にゆえ、これからも当市場の使命を果たしてまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、札幌市中央卸売市場経営展望策定委員会の委員の皆さまをはじめ、ご尽力いただいた皆さまに心から感謝いたします。

経営展望策定委員会委員長 高橋 清一郎

札幌市中央卸売市場長 片 貝 太

札幌市中央卸売市場の理念

**私たちは、札幌市民はもとより北海道民に対し、安全・安心で
おいしい生鮮食料品を安定的に供給し続けます。**

札幌市中央卸売市場（以下「札幌市場」という。）は、生鮮食料品を安定的に供給する役割を担った公共的なインフラとして昭和 34 年（1959 年）に開設しました。開設以来、札幌市民のみならず、北海道民の台所として、また、北海道産品の発信拠点として、その役割を果たし続けてきました。

生鮮食料品の流通環境は、人口減少や少子高齢化による消費の減少や、生活様式の変化による加工品需要の増加、また、産地における労働人口の減少に伴い生産量が減少していることなど、大きく変化しています。

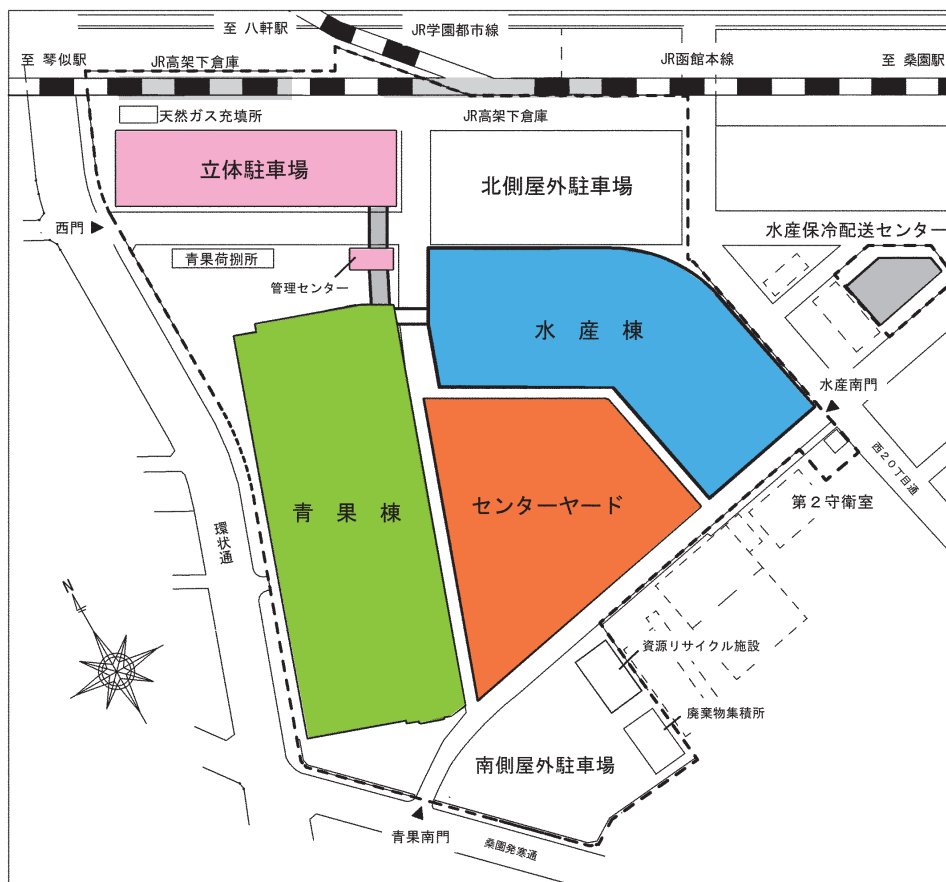
また、全国の生鮮食料品流通に占める卸売市場の経由率は、流通チャンネルの多様化の影響を受けて年々減少しており、札幌市場も例外ではなく、その取扱高は減少傾向となっています。

平成 30 年（2018 年）6 月には卸売市場の設置根拠である卸売市場法が大幅に改正され、これまで全国一律に定められていた取引に関するルールが廃止されました。また、これまで地方公共団体にのみ認められていた中央卸売市場の開設が民間事業者でも可能になるなど、今後一層卸売市場の在り方も多様化していくものと考えられます。

このように、札幌市場を含めた卸売市場を取り巻く環境は変化し続けており、今後も厳しい状況が続くものと考えられます。しかしその一方で平成 30 年（2018 年）に農林水産省が発表した「卸売市場の基本方針」では卸売市場は引き続き「食品流通の核」とであると明記されており、卸売市場がこれまで果たしてきた役割は今後も重要とされています。

今回の第 2 次札幌市中央卸売市場経営活性化プロジェクトの策定にあたっては、札幌市場が持つ公的役割を普遍的な理念として再確認しました。札幌市場はこれからも皆様の食を支えてまいります。

札幌市中央卸売市場 配置図



敷地及び主要施設

敷地面積 129,748㎡ 主要施設延床面積 135,364㎡
 (※JR高架下施設を除く)

■ 主要施設の構造及び面積

(令和2年7月1日現在)

種類	構造	建築面積	延床面積
①水産棟	鉄骨鉄筋コンクリート造・地下1階地上4階建	19,022㎡	39,411㎡ 卸売場 8,346㎡ 仲卸売場 4,737㎡
②青果棟	鉄骨鉄筋コンクリート造・3階建	23,356	36,885 卸売場 13,353㎡ 仲卸売場 4,423㎡
③管理センター	鉄骨造3階建	380	903
④水産保冷配送センター	鉄筋コンクリート造3階建	1,783	4,954
⑤青果物共同配送センター	鉄骨造平屋建(JR高架下)	310	301
⑥青果物定温(冷)倉庫	鉄骨造平屋建(JR高架下)	1,258	1,258
⑦青果物定温(冷)倉庫	鉄骨造平屋建(JR高架下)	709	709
⑧青果買荷保管庫	鉄骨造平屋建(JR高架下)	1,082	1,167
⑨青果荷捌所	鉄骨造平屋建	532	503
⑩廃棄物集積所	鉄骨造平屋建(一部2階建て)	1,543	1,591
⑪センターヤード (屋根付駐車場・荷積みスペース)	鉄骨造平屋建(駐車可能台数約520台)	17,922	15,912
⑫立体駐車場	鉄骨造5階建(駐車可能台数約1,000台)	7,245	35,205

目 次

I 基本的な考え方	1
第1章 計画の策定にあたって	2
1 計画策定の趣旨	2
2 計画の特徴と位置づけ	3
3 卸売市場法の改正と札幌市場の対応	5
4 計画の全体像	8
第2章 卸売市場を取り巻く環境	9
1 人口減少と少子高齢化の進展	9
2 食料消費の量的変化	10
3 流通構造の変化	11
4 産地における漁業・農業従事者数の推移	12
5 運送業者における人手不足	13
6 食品流通に関連する法令の改正等	14
第3章 札幌市場の現状と基本方針	15
1 概要	15
2 取扱数量と金額	16
3 経営状況	17
4 小売業者の登録者数	18
5 北海道内の卸売市場と札幌市場	18
6 基本方針	20
7 共通課題	22
8 推進体制	25
II 運営編	27
第4章 市場事業会計の投資・財政計画	28
1 投資・財政計画策定の趣旨	28
2 投資・財政計画の位置づけ	28
3 改革プランの取組	29
4 市場事業会計の現状	33
5 市場施設の現状	35
6 市場事業会計の見通し	36
7 今後10年間の収支見込	38
第5章 市場事業における基本目標	39
第6章 市場事業会計の課題	40
1 市場事業会計の課題	40
2 市場事業会計の評価指標	42
第7章 具体的な取組	43
1 安定した収入の確保	43
2 継続的な支出の抑制	45
3 社会的要請への対応	46
4 市場施設整備の考え方	48
5 取組による効果	50

Ⅲ 活性化編	51
第8章 市場の活性化に向けた基本目標	52
1 活性化ビジョンの取組	52
2 市場の活性化に向けた基本目標	54
3 課題の整理	55
第9章 札幌市場全体での取組	56
1 地域経済に貢献する市場	56
2 環境負荷の少ない市場	64
3 安全・安心を守る市場	66
第10章 施設等の整備と改修	71
Ⅳ 【共通課題】 災害等への備え	73
第11章 災害等への備え	74
1 近年発生した災害等	74
2 課題の整理と今後の取組	75
3 生活様式の変化とこれからの卸売市場	76
V 資料	77
第12章 資料	78
1 パブリックコメント手続き	78
2 改革プランの取組結果	80
3 活性化ビジョンの取組結果	84
4 施設改修平準化計画	89
5 SWOT分析による戦略の整理	90
6 札幌市中央卸売市場事業会計の経営戦略	94
7 経営展望策定委員会名簿	97
コラム	
SDGsと第2次プロジェクトの関連性	7
卸売市場がなくなったらどうなる？	19
札幌市場の移り変わり①	26
札幌市場の移り変わり②	72